

令和4年度 第1回交野市環境審議会 議事摘録

1 日時	令和4年11月4日(金)午前9時30分から午前10時40分
2 会場	交野市役所 別館3階 中会議室
3 出席	<p>委員 石川 宗孝、渡邊 信久、安藤 馨、葛城 真美子、堀塚 歳史、田中 茂年、 岡本 真由美、奥田 中、日野 安三江、玉井 八恵子</p> <p>市 環境部長、環境衛生課、環境総務課及び危機管理室職員7名</p>
4 案件	<p>(1) 副会長の選出 (2) 答申までのスケジュールについて (3) 交野市災害廃棄物処理計画(素案)について (4) その他</p>
5 概要	<p>(1) 市長挨拶、 市長から開会に先立ち挨拶がされた。</p> <p>(2) 案件諮問 市長から会長に諮問書が手交された。</p> <p>(3) 新委員と事務局紹介 新委員及び事務局の紹介がされた。</p> <p>(4) 配付資料の確認と出欠状況の報告 配付資料の確認とあわせて、リモートによる出席1名を含めて、12名中10名出席であることから、今回の会議が成立していることが報告された。</p> <p>(5) 会議の公開について 交野市会議の公開に関する指針に基づき、公開することについて了承を求めた結果、公開にすることに異論はなしとされた。 (傍聴者無し)</p> <p>(6) 副会長の選出 委員の会長一任の声により会長から副会長が選出された。</p> <p>(7) 答申までのスケジュールについて 答申までのスケジュールについて説明。</p> <p>(8) 事務局説明 交野市災害廃棄物処理計画について交野市災害廃棄物処理計画(素案)及び概要版を元に事務局から処理の基本方針や仮置場の考え方について説明。</p>

(9) 委員の意見

- 平時においてコンクリート類、木くずの処分場がかなり混みあっている。また処理の目標期間が短すぎるのではないか。大阪府の産業廃棄物関係課とすり合わせをした方がよいと思う。
- 一時仮置場は場所が決まっているものなのか。
- 災害による全壊半壊数は交野市の全体の何パーセントぐらいになるのか。
- 被害想定には店舗なども含まれているのか。
- 素案と概要書の文章やタイトルの表記を統一した方がよい。
- 概要版にも出典を記載した方がよい。
- 武力攻撃は考慮しなくてよいのか。
- 平時において、ごみの分別について意識をもっと高める活動をするを盛り込んでよいのではないか。
- 一次仮置場はどのくらいのキャパ、箇所数、民地・市の土地で検討されているのか。
- 台風による被害も含まれているのか。
- 全壊家屋は公費負担、家の一部の破損については個人負担という考えでよいのか。
- 現在交野市は塩漬けになっている土地を売却しているが、災害用に土地を置いておくと、経済的にはよくないため、その辺のバランスも考え、仮置場の選定をして欲しい。
- 仮設トイレを設置しても、運用ができなければ、衛生面でも良くない。ただ計画するだけではなく、現実味を持った計画を策定して欲しい。
- 交野市は一般廃棄物やし尿を回収する業者が1社もない。複数の市の許可を持った収集業者は災害が起きた場合、地元の処理を優先する可能性がある。
- バイオトイレ、木のチップを使ったトイレ、循環型のトイレなども検討してはどうか。
- し尿処理について、和歌山の紀の川市の民間処理業者でと具体化されているが、なにか理由があるのか。